

平成 29 年度入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略対象事業

◎ 入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略に該当する平成 29 年度の事業を基本目標、基本施策ごとに、28 年度以前からの継続事業、29 年度からの新規事業に分けてまとめたものです。

基本目標 1 : 「働きやすいまちをつくる」〈しごと応援プロジェクト〉

指 標	基準値 (H26)	H28 末現在	目標値 (H31)
市内従業者数	50,909 人	経済センサス確報値待ち	基準値

◇基本施策：しごとの場を創る・しごと探しを支援する

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H28 末現在	基準値からの増減	目標値 (H31)
市内事業所数	4,986 事業所	4,962 事業所※	△24 事業所	基準値
支援による創業者数	—	年間 15 件	15 件	年間 15 件

※平成 28 年度経済センサス速報値。

○継続事業

事業名	取組内容	所管課
企業等誘致事業	工場用地が不足している現状の中で、製造業等の工業系企業の誘致にこだわらず、商業、物流、情報通信系、研究所等の事業所等の誘致を推進することにより、新たな雇用創出を図ることを目的とする。	商工観光課
求人情報提供事業	求人情報を提供することにより、地元企業への雇用促進を図るとともに、ふるさとハローワークと連携することにより、求人の効果的な運用を図る。	商工観光課
女性就労情報提供・支援事業	女性のための起業セミナーを実施し、女性の就労支援を行う。	人権推進課
創業支援事業	平成 28 年度から実施中。創業支援事業計画に基づく相談体制整備、創業支援奨励金支給、創業セミナー・ハンズオン支援事業を実施する。	商工観光課
雇用対策事業	雇用支援を強化することにより、雇用の促進を図ることを目的とする。若年者就業相談、若年者就職支援セミナー、中高年就職支援セミナー、労働講座、内職相談及び紹介等を実施する。	商工観光課

○新規事業

事業名	取組内容	所管課
企業合同説明会	埼玉県西部地域雇用促進協議会、ハローワーク所沢と共催による企業合同説明会を開催する。	商工観光課
工場用地情報提供事業	本市における工場等の用に供する土地及び建物に係る情報を登録し、これを適切に提供することにより企業の立地を促進し、もって地域経済の発展と雇用促進に寄与することを目的とする。29 年度は実施要綱を作成し、入間市 HP への掲載を行う。	商工観光課

女性の再就職・キャリアアップ支援事業	政策提言講座を実施し、実際に政策提言をまとめ、行政に提言を行う課程を学ぶことによって女性のキャリアアップを支援する。	人権推進課
ジュニアエコノミースクール	世の中の仕組みや経済循環について理解を深めるため、埼玉りそな銀行とタイアップして子供向け経済・金融講座を開催する。支店・市役所の見学等を実施。	商工観光課

◇基本施策：地域産業を振興する

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H28 末現在	基準値からの増減	目標値 (H31)
商店街空き店舗数	25 店舗	12 店舗	△13 店舗	16 店舗

○継続事業

事業名	取組内容	所管課
狭山茶ブランド振興プロジェクト(T-1 グランプリ茶摘体験等)	茶業者と消費者が交流する取組み (T-1 グランプリ事業、茶摘体験等) を支援する。	農業振興課
狭山茶振興事業	地場産業である狭山茶の安定的な生産を実現するとともに、その高品質化を図ることを目的に実施する。	農業振興課
販売促進PR活動実施事業	入間市農業まつり等を開催する。	農業振興課

○新規事業

事業名	取組内容	所管課
狭山茶商品開発事業 (県や茶業者等と連携した狭山茶関連消費の開発、販売、PR)	商工観光課等と情報の共有や事業の連携を図りつつ、商品化の芽を見出し、その芽を育てていく。	農業振興課
ビジネスマッチング (企業間連携による経営強化)	埼玉県西部地域産業ミ二商談会等との連携。金融機関、商工会と連携して、企業間連携、異業種連携のシステムを整備する。生産と生産、生産と流通、流通と広告等を連携させることにより企業活動の発展的展開を図る。	商工観光課

基本目標2：「ずっと住みたいまちをつくる」＜定住応援プロジェクト＞

指標	基準値（H26）	H28 末現在	目標値（H31）
定住意向※	77%	—	基準値

※ 市民意識調査（サンプル数 2,000）の「これからも住みたい」、「これからも住んでいたい」を合算したもの。前回の市民意識調査は平成26年実施。次回は平成31年の予定。なお、平成28年に実施したより簡易な調査である「市政意向調査」（サンプル数 300）にも同じ調査項目があり、結果は78.5%となっている。

◇基本施策：若者の定住を推進する・親子の同居・近居を促進する・子育て世代の移住を促進する

重要業績評価指標（KPI）	基準値（H26）	H28 末現在	基準値からの増減	目標値（H31）
20歳から29歳までの社会移動数	△321人	△358人	△37人	△160人
転入支援件数	—	—	—	年間60件
30歳から39歳までの社会移動数	32人	△45人	△77人	100人

○継続事業

事業名	取組内容	所管課
入間ご当地愛醸成事業（ご当地フェイスブック制作事業）	ご当地愛の可視化を図ることを目的に、地元を愛し地域のために何かしたいという気持ちを持つ市民を情報発信者として募集。市民それぞれの目線で見つけた「地域の良いところ」を発信し、地域愛を表現するプラットフォームともいえる Facebook ページを創設する。	広報課

○新規事業

事業名	取組内容	所管課
空き家バンク開設	空き家の情報を市HPで発信することで、空き家の利活用を図るとともに定住を促進する。29年度は制度周知のためのパンフレットを作成。	都市計画課

基本目標3：「子どもの育ちを支える」＜子育て応援プロジェクト＞

指 標	基準値（H26）	H28 末現在	基準値からの増減	目標値（H31）
合計特殊出生率	1.18	1.19	0.01	基準値

◇基本施策：出会いや結婚の希望をかなえる・子育てをサポートする

重要業績評価指標（KPI）	基準値（H26）	H28 末現在	基準値からの増減	目標値（H31）
婚姻届出数	596 件	526 件	△70 件	基準値以上
多子世帯数※	2.28%	2.02%	△0.26	2.0%以内

※ 18歳以下の児童が3人以上いる世帯数の過去5年間の平均減少率

○継続事業

事業名	取組内容	所管課
赤ちゃんの駅	常設の赤ちゃんの駅の設置推進並びに移動式赤ちゃんの駅を設置し子育て家庭が安心して地域の行事に参加できる環境を整備する。	こども支援課
母子健康教育事業	妊娠から出産後の保護者と乳幼児を対象に、正しい知識の普及と発育・発達の支援、育児不安の軽減を図るため各種教室を実施する。	地域保健課
母子健康相談・訪問事業	乳幼児の発育・発達の支援、保護者の育児不安の軽減を図るため、妊産婦と乳幼児を対象に、各種相談及び訪問による指導を行う。	地域保健課
母子地域活動推進事業	子育て支援団体と協働により、地域における親子の健康保持や子育て支援を行う。	地域保健課
妊婦健診事業	妊娠中の母体の健康の保持増進、疾病の早期発見を目的とする。	地域保健課
乳幼児健診事業	乳幼児の健全な育成のため、病気の早期発見・早期対応、発育発達の確認、保護者への育児支援と健康推進に対する援助、母親の育児不安の軽減や精神の安定を図ることを目的とする。	地域保健課

○新規事業

事業名	取組内容	所管課
福祉総合相談支援窓口設置事業	医療・保健・福祉・予防などを包括的かつ継続的につなぐ支援体制を構築し、子どもから高齢者まで、ワンストップで支援する。29年度は調査・準備作業。	福祉総務課
利用者支援事業（母子保健型）	保健師等の専門職を配置し、妊娠期からの継続的な状況把握及び支援プランを策定し、きめ細かい支援を実施する。	地域保健課
産前産後ヘルパー派遣事業	家事、育児を支援するヘルパーを派遣し、子育て家庭の負担を軽減し、妊産婦の心身の健康の保持を図る。	こども支援課
産前産後ケア事業・訪問型	助産師が訪問し、母体のケア・育児指導・育児相談を実施し産前産後の不安の軽減を図る。	こども支援課

産前産後ケア事業・宿泊型	助産所等に宿泊し、母体の休養や育児の技術を学び、子育ての不安感の解消を図る。	こども支援課
ファミリー・サポート・センター利用料助成事業	低所得世帯及び多子世帯のファミリー・サポート・センター利用料を助成し、子育ての経済的負担の軽減を図る。	こども支援課
イクボス大賞	イクボスのPRを実施し、仕事と家庭の両立ができるよう職場や社会の意識改革を図る。男女共同参画推進センターと実施。	こども支援課
妊活事業（講演会）	妊娠に関する知識、不妊治療の基礎知識等を身につけることを支援する。29年度は妊娠活動講演会を予定。	地域保健課

◇基本施策：子どもの生きる力を育む

重要業績評価指標（KPI）	基準値（H26）	H28末現在	基準値からの増減	目標値（H31）
学校評価による教育体制及び教育環境についての充実度	80%	80%	0	90%

○新規事業

事業名	取組内容	所管課
ひとり親家庭児童学習支援	精神面や経済面で不安定な状況におかれていることにより、学習や進学への意欲の低下や、十分な教育が受けられないひとり親家庭の児童等に対し、学習支援を図る。また、必要な教育を身につけることで、貧困の連鎖を防止する。	こども支援課

◇基本施策：子どもによるまちづくりを推進する

重要業績評価指標（KPI）	基準値（H26）	H28末現在	目標値（H31）
子どもたちの意見を反映した事業数	—	—	年間10件

○継続事業

事業名	取組内容	所管課
むささびひろばまつり、むささびの森のクリスマス	小中学生の体験事業として、仲間と協力して企画運営を行う。	青少年課 （青少年活動センター）
各種公民館事業	公民館における、異年齢の交流事業、地域の交流事業の実施。	中央公民館
地域教育フォーラム	子どもたちと触れ合うことの大切さを再認識し、家庭、学校、地域での関わり方を考えることにより、子どもたちの健やかな成長を促すことを目的に開催。青少年健全育成推進協議会、PTA連合会、子ども会育成会連絡協議会で構成する実行委員会と教育委員会の共催。	青少年課

彩の国 21 世紀 郷土かるた入間 市大会	異年齢の交流、仲間づくりの場として、かるた大会を子ども会育成会連絡協議会との共催で実施。(費用については子ども会育成会連絡協議会の予算で対応)	青少年課 (青少年活動センター)
-----------------------------	---	---------------------

○新規事業

事業名	取組内容	所管課
いるま「子ども会議」	小学生が入間市の未来について考える機会を提供する。中学生による模擬議会は実施未定。	企画課
青少年の居場所づくり事業(むささび食堂)	青少年が異年齢のスタッフや友達との関わりの中で、自分の個性が尊重され、自己肯定感や社会性を育む事業の実施。	青少年課 (青少年活動センター)
児童センター 子ども運営委員会	児童の視点や意見を児童センターの運営や活動に活かせる会議の開催。	青少年課 (児童センター)
入間ご当地愛醸成事業(子ども観光パンフレット制作事業)	子どもたちの郷土愛醸成と観光資源発掘を目的に、ワークショップを実施し、子どもたちが記者や雑誌編集者の目線で、まちを取材し記事をつくり、子ども目線での観光パンフレットを制作する。具体的には、夏休みに子ども向けに「文章のつくり方教室」を開催し、それを素材にして「(仮)子ども観光ブック」を作る。	商工観光課

基本目標4：「まちの魅力を活かす」＜魅力づくりプロジェクト＞

指標	基準値（H26）	H28 末現在	目標値（H31）
入間市に対する誇りや愛着を感じる割合 ※	41%	-	50%

※ 市民意識調査（サンプル数 2,000）の「非常に感じる」と「ある程度感じる」を合算したもの。

◇基本施策：安全で快適な住環境の形成

重要業績評価指標（KPI）	基準値（H26）	H28 末現在	目標値（H31）
日常生活の便利さの市民満足度 ※	0.424	-	0.474

※ 市民意識調査（サンプル数 2,000）の「買い物・金融機関などの日常生活の便利さ」の満足度の加重平均による。0より大きければ満足の回答が不満の回答を上回っており、0より小さければその逆を示す。2が最高値で-2が最低値。なお、市政意向調査では0.396となっている。

○新規事業

事業名	取組内容	所管課
通勤・通学環境整備事業（市内循環バスの見直し）	入間市地域公共交通協議会で公共交通網形成計画を策定し、通勤・通学の利便性向上を図る。平成30年1月を目途に市内公共交通の再編を目指し、持続可能で利便性の高いコミュニティバスの運行を目指す。	都市計画課
交通アクセス改善事業	入間市地域公共交通協議会で公共交通網形成計画を策定し、通勤・通学の利便性向上を図る。国の補助金を活用しながら、各事業を推進して行く。協議会運営事業、公共交通利用促進事業、交通動向調査を実施し持続可能な公共交通の再編を目指す。	都市計画課

◇基本施策：シティセールスの推進

重要業績評価指標（KPI）	基準値（H26）	H28 末現在	基準値からの増減	目標値（H31）
観光入込客数（年間）	7,237,276 人	7,316,532 人	79,256 人	7,250,000 人

○継続事業

事業名	取組内容	所管課
観光ショーケース実施事業（観光協会が実施）	観光客誘致を促し、地域の活性化を図ることを目的に、入間市駅前スペースで市の自然や文化、産業等について、楽しく体験・鑑賞できる展示やイベントを実施する。	商工観光課
魅力アップ事業（イベント支援）	太鼓を中心とした市民のパフォーマンスによって、風土と伝統に支えられた人々と、新しい市民活動を推進する人々の相互交流を図る。新しい文化創造及び独自の文化発信を行い、市民文化活動による生活のエネルギーを創出する。	自治文化課
魅力アップ事業（観光振興）	観光振興の主体となる観光協会の育成・支援を図る。また、地域経済の活性化、商業振興、観光振興を目的に市内最大のイベントである万燈まつりを実施する。	商工観光課

○新規事業

事業名	取組内容	所管課
春日野部屋との連携事業を活用した誘客事業	合宿稽古見学、その他イベント等の大相撲関連事業を展開し、大相撲を当市の魅力として発信し、観光誘客を図る。併せてわんぱく相撲等を支援し、子どもから大人まで様々な世代をターゲットにした相撲文化を振興する。	商工観光課
茶畑の景観活用プロジェクト	金子駅や茶畑内でのイベント事業を実施する。また、自転車を活用した茶畑景観や狭山茶観光資源（博物館等）を活用するサイクリングコースやマップの制作について大学等と連携し研究開発する（エコツーリズム的な視点を含む。）。	商工観光課
わんぱく相撲や給食に代表される豊かな人間教育の発信	相撲を通じて、礼節・社会規範を学ぶ、全力で競い合うことで真の友情を育む。また、おいしいと評判の給食は、食を通じて子どもの成長を支えており、子育て環境の素晴らしさを入間市の魅力として発信する。	商工観光課

◇基本施策：広域エリアでの魅力アップ

重要業績評価指標（KPI）	基準値（H26）	H28 末現在	目標値（H31）
まち・ひと・しごと創生総合戦略における他市町村との連携事業数	—	—	2件

○新規事業

事業名	取組内容	所管課
近隣市とのティアップPR（沿線プロモーション）	近隣市との連携によるシティプロモーションを実施する。当初の予定にあった西武鉄道とのティアップについては次年度以降を予定。	商工観光課